



申3号
12月14日付

ディスクブレーキ凍結 抜本的な対策を求める

「ディスクブレーキ凍結対策」及び「ディスクブレーキ凍結に対する取扱い」に関する緊急申し入れ

E129系のディスクブレーキが凍結する問題について新潟地本はこの間、その解消に向けて支社との団体交渉を繰り返してきました。

昨冬期における事象についても、凍結対策を求めて2度にわたり申し入れたものの、支社側の対策は事象発生後の対応が中心であり、車両の対策については示せるものは無いとする姿勢は変わりませんでした。

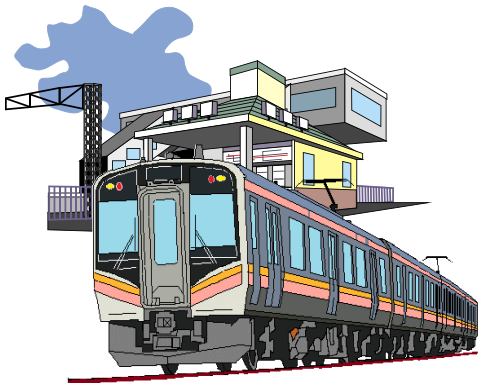
抜本的な凍結対策が取られない一方で、現在各運輸区ではディスクブレーキ凍結確認の取扱いについて訓練会等で説明が行われています。

この取扱いは、入換開始前に車掌の入換合図により小移動を行うことでディスクブレーキが凍結しているか否かを確認するというものです。

この取扱いを実際に行うことになる社員からは不安や不満の声が多くあがっています。

教育が不十分なまま実施されることや、休養時間が大きく削られることが要因となり傷害事故や命に関わる事象を引き起こす危険性も否めません。

新潟地本は12月14日、申3号として「ディスクブレーキ凍結対策」及び「ディスクブレーキ凍結に対する取扱い」に関する緊急申し入れを提出しました。



■ 申3号 申し入れ項目 ■

1. ディスクブレーキ凍結に対し、抜本的な対策を講じること。
2. ディスクブレーキ凍結が予想される場合は現地に検修社員を派遣すること。
3. 抜本的な対策が講じられるまでのディスクブレーキ凍結確認の小移動は、原則として乗務員に行わせないこと。
4. ディスクブレーキ凍結確認の取扱いを行う全社員に対し、必ず現地で教育を行うこと。
5. 2項から4項について整理できない限り「ディスクブレーキ凍結確認の為の起動確認の取扱い」は行わないこと。

2018年12月18日(火) 13時30分より 団体交渉を行います!